

第23回都道府県議会議員研究交流大会 第2分科会 資料

「デジタルツールの活用による住民との信頼関係の構築」

【コーディネイター】

東北大学大学院情報科学研究科准教授 河村 和徳 氏

【パネリスト】



茨城県取手市議会議長 金澤 克仁 氏

株式会社電通 パブリック・アカウント・センター 社会創発室

チーフ・プロデューサー 勘場 永子 氏

【アドバイザー】

大邱大学招聘教授 高 選圭 氏



Tohoku University DRR Actions
Contributing to Global Disaster Resilience

第2分科会 「デジタルツール活用による 住民との信頼関係の構築」

話題提供

東北大学情報科学研究所
河村 和徳

全国都道府県議会議長会デジタル化専門委員会報告書
<http://www.gichokai.gr.jp/kenkyu/index.html>



10th Anniversary
Tohoku Forum for Creativity
Future Society Design Program 2023

どうすれば日本の民主主義のデジタル化は進むのか
制度・意識・技術の視点から考えるデジタル・デモクラシーに向けての環境整備

2023年6月-2024年3月
www.tfc.tohoku.ac.jp/future-society-design-program/program/1002.html

QRコード

イベント

- 地方議員のための議会DXセミナー (2023年6月1日)
- インターネット投票による主権者教育 (企画 2023年7月予定 / 東京 日程未定)
- 民主主義に係る学術会議 V-Dem East Asia (2023年11月予定)
- インターネット投票に関する市民シンポジウム (2023年開催予定)
- 成果報告会 (2024年2月予定)
- 地方議会のデジタル化に関する宮城県民フォーラム (2024年3月予定)

オーガナイザー

- 河村 和徳 (東北大学)
- 市ノ澤 充 (株式会社VOTE FOR)
- 木村 妥知 (小樽商科大学)
- コソンギュ (大阪大学)
- ハク ジェヨン (KEviting, Inc)
- 遠澤 駿道 (明治大学)

Premium Sponsor **TEL** TOHOKU ELECTRON Gold Sponsor **NEC** NECネクシエスアイ

共催 **GSIS** Global Society Information Science **NEC** NECネクシエスアイ

TFC TOHOKU FORUM FOR CREATIVITY www.tfc.tohoku.ac.jp



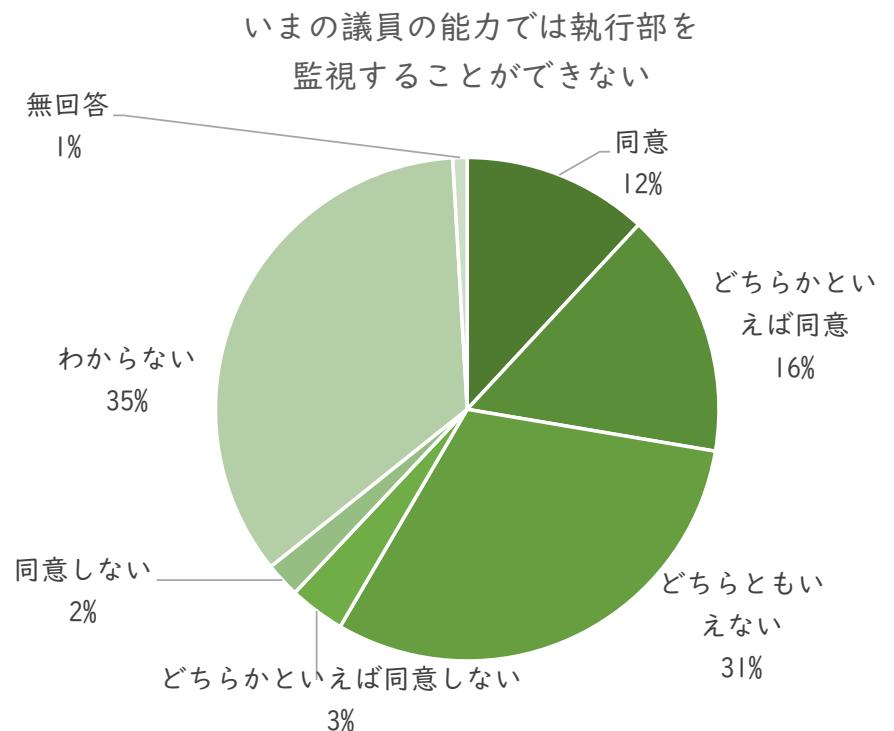
地方議会に対するネガティブな評価

- なぜ、右図のような結果となるか？

- 地方議員が「非常勤の特別職」だから
- 地方議員が勉強しないから

⇒そもそも地方議員と縁遠くなっているからではないか？

- 定数削減、平成の大合併…議員を減らせば評価は下がる





日本の地方議会制度の構造的な課題

- GHQの戦後改革
 - 地域から議員のなり手予備軍を失わせてきた
 - 議員のあるべき姿が不明確になる一方で、戦前からの連續性も存続（江戸・ドイツ・アメリカの三層構造）
 - 強い首長主義
 - 首長に強い権限を与える法制度 + 中央の政治対立を持ち込むことを忌避する雰囲気
- ⇒ 地域の御用聞きで十分という意識を醸成してしまう環境



2023年地方自治法の改正

- ・地方議会の役割・地方議員の職務等を明確化
 - ・第89条の改正

普通地方公共団体に、その議事機関として、当該普通地方公共団体の住民が選挙した議員をもつて組織される議会を置く。

② 普通地方公共団体の議会は、この法律の定めるところにより当該普通地方公共団体の重要な意思決定に関する事件を議決し、並びにこの法律に定める検査及び調査その他の権限を行使する。

③ 前項に規定する議会の権限の適切な行使に資するため、普通地方公共団体の議員は、住民の負託を受け、誠実にその職務を行わなければならない。



89条改正を受けて：重要な意思決定機関になるために

- 個人のスキルアップ
 - 議員のリスクリング
 - 知恵の支援をしてくれる人とどうつながるか
- 議会のレベルアップ
 - 多様な意見を聞く場としての議会
 - 学びの場としての議会
 - 議会事務局の機能強化（専門職員の雇用など） ⇒すでにある権限を行使したら？



住民との距離を近づける必要

1. 情報を発信していく

- 知らないから信頼されない…アナログでもデジタルでも情報を届ける

2. 接触する機会を増やす

- 議員数が減る中、過疎が進む中、議員と接する人を増やす…オンラインの活用

3. 「先生」からの脱却

- 議員は一人ではないし代理人に過ぎない…スキルのある人たちの力を借りる



情報を発信していく方法

- たとえば政務活動費…
 - 研究費と捉えれば有意義だが
 - 透明化の必要性

→ 政務活動費の精算等をデジタル化し、オンライン公開までつなげる取り組み

- たとえば議会の見える化
 - 動画サイトにアップするのはよいが…
 - ディープフェイク問題は？

→ 360度カメラを利用するなどの取り組みが応用できる



オンラインも意識して住民参加の場をつくる

- ・加古川市のような取り組み
(デジタル化専門委員会報告書)



- ・オンラインばかりが住民参加の場づくりではない
 - ・議会ゼミ（宮城県大和町）
 - ・女性議会や若者議会など、「多様性に欠ける」という謙虚な視点からの声を聞く場をつくることも…

「議会は多様性が乏しいのでは」という謙虚な発想



デジタル・インクルージョンという発想

- 障がいのある方の政治参加をしやすく取り組み
 - (障がいのある方の特性) 政治参加に消極的になりやすい
 - (行政の盲点) 障害のある方に対する視点が欠けている、ただし、我々はいずれ老いることを想定していない

たとえば…オンライン中継

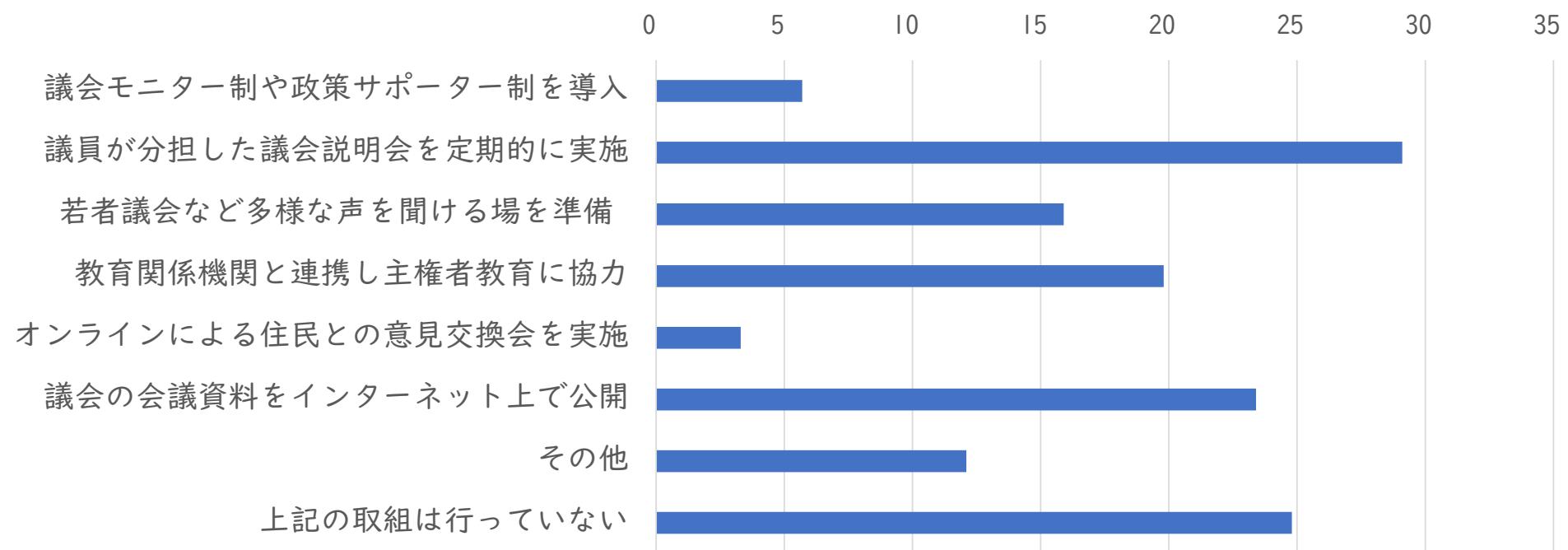
- 字幕がつく、点字化しやすい
- 現場に行かなくても現場が見える

たとえば…お知らせのプッシュ通知

- 紙ではできない対応

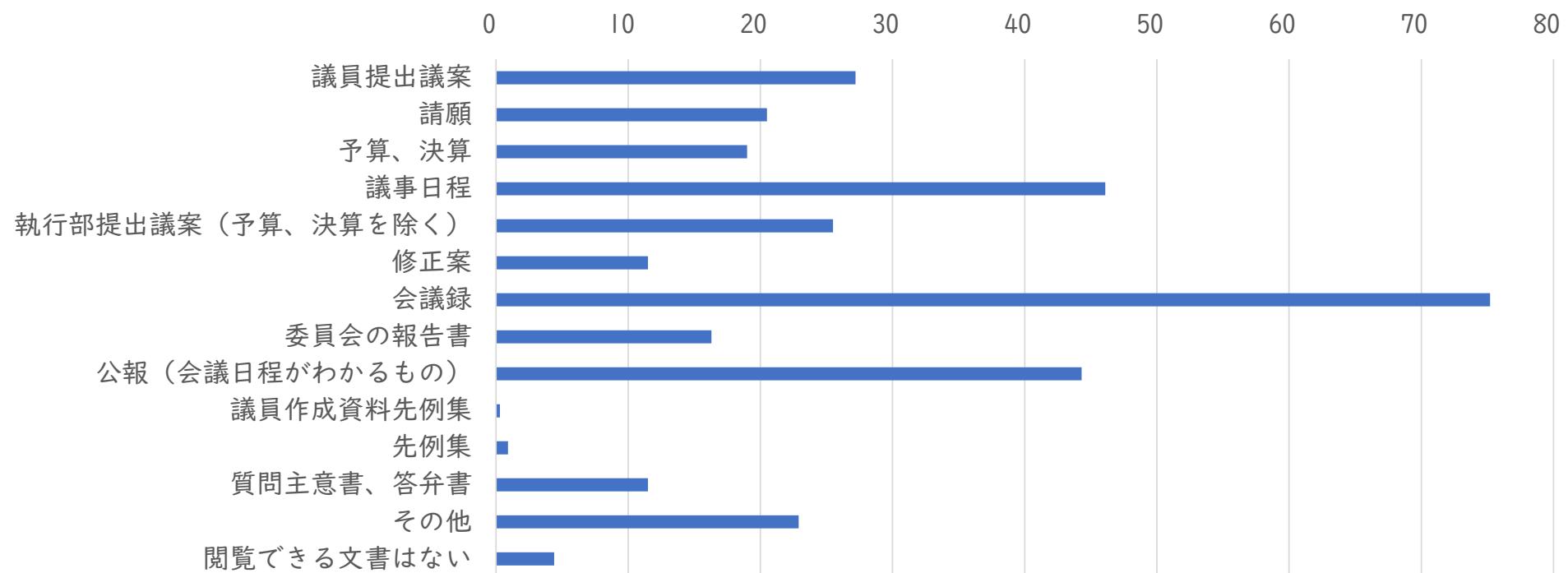


取り組みの実施状況（市区町村議会事務局調査, %）





ネットで公開している資料（市区町村議会事務局調査、%）





オープンデータの活用とシビックテック

- 地方議会のオープンデータの整備
 - 執行部に比べかなり遅れている
 - **名ばかりオープンデータもしばしば**
 - 「使う」時代に向けたオープンデータの整備
 - オープンデータが読み込めば…生成系AIの活用もより進む
 - シビックテックという発想
 - 政策を分析できる住民がいないわけではない
 - データをオープンにすることで新しい何かを生むことができる
- それに取り組む社団法人もある、
世界的な取り組みも

第23回 都道府県議会議員 研究交流大会

議会 × 住民参画 × オンライン

デジタルが切り開く
議会と住民参画の新たな可能性

2023（令和5）年11月14日
茨城県取手市議会議長 金澤克仁

取手市議会の住民参画とオンライン

オンライン併用型の市民との意見交換会(平成30年度から方式変更)

- 車座式での対話を重視した意見交換会に(従来は議会報告会)
- 令和3年度以降、オンラインを活用 (Zoom、タブレット)
- 令和5年度は複数会場を同一日程で進行 (3会場 + オンライン会場)

中学生との協働事業(平成28年度から実施)

- **議会や行政への関心**
(議会や行政を身近に感じてもらい、関心を高める。)
- **主権者教育**
(投票率の向上や将来的な被選挙権行使への理解を深める。)
- **政策提案の一翼として**
(若い世代からの柔軟な提案事項から、市政や市議会の改善改革につなげる公聴機能充実のため。)

市民との意見交換会（複数会場同時進行）

①取手庁舎 議場・大会議室



③市内公民館1



各会場ごとに意見交換
(車座方式)



③市内公民館2

②オンライン(zoom)



令和5年5月13日(土)

第1部

フリーテーマ

第2部

「投票率向上のため
議会・議員に期待すること」

市内3会場
+ オンライン

※ 議員24名は各所に分散

会場参加:33名

オンライン参加:8名

市外からも参加あり

オンラインで全会場を接続
(開始時と報告時)



離れた会場間・参加者全員
での情報共有を可能に

会場と人員配置



参加者アンケートの評価

参加者の評価

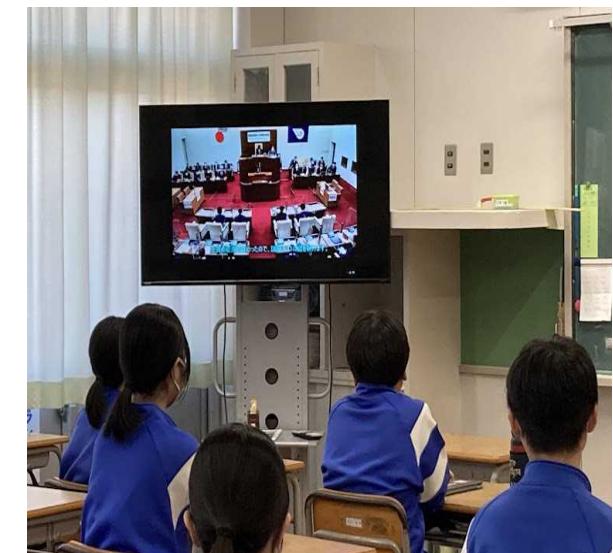
- ・ フリートークになり話したいことが話せた。
- ・ 日頃考えていることが共有できとても満足した。
また参加して取手市が良くなつていけたらうれしい。
- ・ 広く市民の声を聞く上で、複数の参加形式があるほうが良い。
- ・ 公民館が増え、会場が近いと参加しやすい。
- ・ 地区により機会の差が出るのは良くないため（複数開催で）良かった。

オンライン併用型の評価：79%が高評価

- ・ 仕事で移動できなかつたからとても良かった。
- ・ オンラインだったからこそ参加できた。（すぐには行けない距離だった）
- ・ オンラインでも自分の考えを直接市議会議員に届けることができた。
- ・ 家でも手軽に参加できて、参加人数が増えると思う。
- ・ より多くの人（障がい者や交通難民など）に参加機会があつてありがたい。
- ・ 小さい子がいるので、オンラインは参加しやすかつた。

中学生との協働事業（目的）

- 若いうちから市議会や行政を身近に感じてもらい、関心を高めるため
- 選挙権年齢の18歳引き下げを機会に、投票率の向上や将来的な被選挙権行使への理解を深めるため
- 若い世代からの柔軟な提案事項から市政や市議会の改善改革につなげる
広聴機能充実のため



中学生との協働事業（特徴）

- ・ 前半・後半の2部制で実施
- ・ オンライン(YouTube)を併用したハイブリッド開催

【前半】 教室で

- ・ 各教室に議員が訪問
グループごとに、「住みよい取手
をつくるため」の提案(議案)を作成
※ 議員は各グループにアドバイス
- ・ できあがった提案(議案)を発表
- ・ クラス代表を決定
※ 投票箱を使用した投票により

【後半】 議場と教室、両方の場で

- ・ クラス代表のグループが生徒議員として
議場に入場 → 議長選挙で議長を選出
- ・ 議場では、議案の説明や質疑を実施
- ・ **議場の様子は、YouTubeで配信**(限定配信)
教室の生徒はライブで議場の様子を視聴
- ・ (採決前) 議場の生徒は議員と相談・
教室の生徒はクラス内で賛否の相談
- ・ **オンラインによる採決の実施**
**(議場の生徒は1人ずつ、各教室は1クラス
を1人に見立てて参加)**
⇒ 可決した議案を議長に提出

議場と教室、
離れた場が一つになった採決

前半



後半

議場では



同じとき、教室では



YouTubeで議場の様子を視聴

採決(議場)



採決の結果は
教室でも視聴



採決(教室)



可決議案を議長に提出



工夫している点

- ・ 前半/クラス代表決定の際には、実際の投票箱を使用(投票の体験)
- ・ 後半/教室に残った生徒たちも、議場の様子を同時に視聴
(画面に何をやっているかという解説の字幕を入れる)
- ・ 後半/教室の生徒たちも投票に参加

選管の投票箱使用



YouTubeで議場の様子を視聴



教室からも採決



進行内容の字幕の表示



休憩(賛成・反対を決めています。教室でも賛成・反対を決めてください)



議決結果(中学生との協働事業)

藤代南中3年生&取手市議会合同企画「議会を知り・未来を語る」の議決結果

整理番号	議案名称	議決結果	賛否数	生徒議員名及び賛否の別																								各教室			
				Vi o l e 党				きょうりょく党				勝党				二党				エレガン党				3	3	3	3				
				賛	反	成	対	賛	反	賛	反	賛	反	賛	反	賛	反	賛	反	賛	反	賛	反	3	年	年	年				
(個人氏名記載部分のため、削除しています。)																															
議員提出議案 第 1 号	Vi o l e 党 提出議案	原案可決	17	6	O+	O+	O+	O+	O+	O-	X+	O+	O+	O-	X+	O+	O-	O+	O-	X+	O+	O-	O+	O-	X+	X+	O+	O-	O-	X+	O+
議員提出議案 第 2 号	きょうりょく党 提出議案	原案可決	23	0	O+	O+	O+	O+	O+	O-	O+	O+	O+	O-	O+	O-	O+	O-	O+	O-	O+	O-	O+	O-	O+	O-	O+	O-	O+	O-	O+
議員提出議案 第 3 号	勝党 提出議案	原案可決	15	8	X+	O+	O+	O+	O+	O-	X+	X+	X+	O+	O-	O+	O-	O+	O-	O+	X+	X+	X+	O-	O+	O-	O+	O-	O+	X+	O+
議員提出議案 第 4 号	二党 提出議案	原案可決	15	8	O+	O+	O+	O+	O+	O-	X+	O-	O+	O-	O+	O-	O+	O-	O+	O-	X+	O+	X+								
議員提出議案 第 5 号	エレガン党 提出議案	原案可決	15	8	O+	O+	O+	O+	O+	O-	X+	O-	O+	O-	O+	O-	O+	O-	O+	O-	O+	O-	O+								

「○」は賛成、「×」は反対、「-」は欠席を表します。

議長には「表決権」がないため表決には加わりません。その理由は、可否同数となったとき、可決・否決を裁くための「裁決権」を持っているからです。

効果(中学生との協働事業)

○議会や議員に対するイメージは?

(やる前)

ネガティブイメージ

1. 遠い存在 …… 58

2. わからない …… 57

3. 興味ない …… 42

4. つまらなそう …… 31

5. 良い …… 16

6. 身近な存在 …… 16

(やった後)

ポジティブイメージ

1. おもしろかった ・ 80

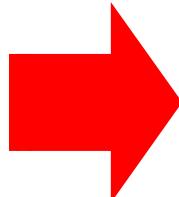
2. とてもよい …… 65

3. 明るい ………… 61

4. 身近な存在 …… 45

5. 興味がわいた …… 44

6. 良い ………… 37



取手市議会でのその他の取り組み

1. オンラインでの委員会や各種会議の実施

- ・ オンラインを活用した現地視察
- ・ 市議会感染症対策会議や市議会災害対策会議など、
非常時・緊急時におけるオンライン会議の経験の蓄積

2. オンラインでの 提出予定議案の事前説明



市長から議案が送付された後、議会開会日までの間（おおむね議会開会日の3日前）に、市長や執行機関から、議案の提案理由や詳細な内容について、事前にオンラインで説明を受けるもの

住民・生活者
視点

民間企業事例
を参考に

デジタルツールの活用による 住民との信頼関係の構築

2023年11月14日

(株) 電通

勘場永子 EIKO KAMBA

■ 勘場永子 EIKO KAMBA

(株)電通 パブリック・アカウント・センター
社会創発室 チーフ・プロデューサー

1998年電通入社。
入社以来、食品・飲料メーカー、外食チェーン、大手百貨店、SPAなどの商品開発やプランニング業務及びメディアを絡めたコミュニケーションデザインに従事。

ここ数年は、大企業の新規事業開発・DXサービス開発に取り組む。

2021年、自治体職員向けのDX情報を提供するWEBサイト
「自治体DX白書.com」を立ち上げ、地域のDXリテラシー向上を支援。

地域の多数のステークホルダーを巻き込んだワークショップのファシリテーションを
多数経験し、誰もがワクワク当事者になる！がモットー。

得意テーマ領域：少子高齢化・食農・GX・ヘルスケア・観光



大きく2つのテーマでご紹介させていただきます

分科会テーマ

「デジタルツールの活用による住民との信頼関係の構築」

デジタル化が進む中で、より住民に開かれた議会を実現するため、
デジタルツールを活用した住民へのわかりやすい情報提供や
議会と住民との双方向コミュニケーションのあり方を考える。



何を求めているのか？

住民・生活者
の意識を把握する



先進事例として、

民間企業
の事例を参考にする



何を求めているのか？

住民・生活者 の意識を把握する

弊社オリジナル調査結果を参考に、 住民・生活者が何を求めているかご紹介させていただきます。

国民・生活者の意識や行動インサイトをリアルタイムで把握するため、
様々な自主調査を実施しております。

骨太の方針＊政策調査

骨太の方針の重要政策 100程度
政策全般にわたって「政策認知度」「政策興味度」
について同じパネルで聴取・比較する調査

2023年7月21日（金）～23日（日）

全国

インターネット調査

15歳～79歳一般男女（中学生除く）

4200サンプル

調査実施期間

調査エリア

調査手法

調査対象者

サンプル数

パブリックインサイト調査

社会的行動を起こすまでの
生活者の行動・価値観の分析
情報接触や情報リテラシー等に関する調査

2023年7月28日（金）～31日（月）

全国

インターネット調査

全国

1400サンプル

1 「賃金と物価の好循環」（賃金の上昇や適切な価格転嫁などによる物価高への対策）	54 「スタートアップを生み育てるエコシステムの形成」（新たなビジネスの創出に向け、スタートアップ企業の起業から成功に至るまでの様々なサポートをする環境（コラボム）を形成する）
2 「下請取引適正化」（発注企業がその立場を利用して下請け企業に対して不当な取引条件を強いることをなくすこと）	55 「スタートアップ育成五か年計画」（令和4年11月に新しい資本主義実現会議で決定された計画。1兆円のスタートアップ育成に向けた予算措置など）
3 「中小企業の価格転嫁対策」（資源価格の高騰など仕入れコストの上昇を、売り物の価格に上乗せすること）	56 「グローバル・スタートアップ・キャンバス創設」（海外の優秀な研究者の招へい等により、ディープテック分野などの研究とインキュベーションを推進する）
4 「最低賃金の継続的引上げ」（物価上昇に合わせて最低賃金を継続的に引き上げていくこと）	57 「インパクト投資の促進」（社会的起業家の支援を強化するための投資。年度内に普及に向けた基本的指針を策定予定）
5 「国内投資の持続的拡大」（海外からの人材や資金を積極的に呼び込むこと）	58 「大企業によるオープンイノベーションを促進」（税制措置や経営資源のカーブアウトの加速などによる）
6 「構造的な人手不足問題の克服」（少子高齢化など構造的な理由により人手が不足している問題の解消）	59 「国際卓越研究大学の選定」（科学技術立国再興のため、我が国全体の研究力向上を牽引する大学を選定）
7 「2%の物価安定の目標の持続的・安定的実現」（日銀による金融緩和によって実現される経済成長の指標）	60 「文理の枠を超えた多様性のあるイノベーション人材の育成強化」（学部再編・先端技術に対応した高等教育の高度化・文理横断的な入試、学びの転換の促進など）
8 「異次元の少子化対策」（少子化対策を早急に大規模に実施すること）	61 「地域社会・経済に好循環を生む持続可能な観光地帯づくり」（自然・文化の保全と観光収入の増大をバランスさせるため、観光資産の高付加価値化を進める）
9 「DXの利活用を通じた行政財の徹底した効率化」（国や自治体の業務をデジタルを活用して効率化すること）	62 「アジアGXコンソーシアムの組成」（CO2排出量を含む企業データを集約し、アジアにおけるGX金融ハブを形成）
10 「EBPMを通じた賢い財政支出の徹底」（政策の効果を数字などの結果できちんと測り、無駄な支出を減らすこと）	63 「ライフステージを通じた子育てに係る経済的支援の強化や若い世代の所得向上に向けた取り組み」（児童手当の拡充・出産・医療負担軽減・教育費負担軽減・住宅支援など）
11 「金融資産所得の拡大による家計所得の増大」（給与収入だけでなく、個人投資等により所得を増やすこと）	64 「全てのこども・子育て世帯を対象とする支援の拡充」（幼児教育の質向上、妊婦期からの支援拡充など）
12 「多様な働き方の推進」（リ・スキリングや職務紹介などを通じて、労働者が自分の意志で職務を選択しやすくなること）	65 「共働き・共育ての推進」（男性育休取得促進・多様な働き方と子育ての両立支援など）
13 「リ・スキリングによる能力向上の支援」（新たなスキルを身に着けることで、できる職務を増やすこと）	66 「こども・子育てにやさしい社会づくりのための意匠改革」（優先案内・専用レーン・交通機関における妊娠婦や乳幼児連れの方への配慮などの理解・協力の啓発など）
14 「個々の企業の実態に応じた職務給の導入」（年功序列ではなく、業務の内容に応じた給与制度の導入）	67 「新育て安心プラン」（令和6年度末までに、4年間で約14万人分の保育の受け皿を整備する）
15 「成長分野への労働移動の円滑化」（失業給付制度や退職金に関する制度の見直しにより、転職のハードルを下げる）	68 「こどもの居場所づくりに関する指針」（多様な子供の居場所づくりや、こどもと居場所をつなぐ仕組みをつくる）
16 「教育訓練給付の拡充」（厚労省の指定する教育訓練を修了した際に支給される給付金）	69 「多様なニーズを有するこどもの地域の支援基盤強化」（全ての障害のあるこどもへの支え）
17 「雇用調整助成金の見直し」（事業活動縮小を余儀なくされた事業者が雇用を維持する費用に対する助成金を、教育訓練にも拡充する）	70 「女性活躍と経済成長の好循環」（上場企業の女性役員割合）
18 「失業給付制度の要件緩和」（自己都合離職の場合の要件を緩和する方向で検討）	71 「包摂的な共生社会づくり」
19 「求職・求人にに関する官民の基礎的情報の加工・集約」（キャリアアップや転職の相談を効率的・効果的にするための基礎情報集約）	
20 「賃上げ企業の優遇強化」（特に中小企業の賃上げを促進するために、税制や補助金等で賃上げした企業を優遇する）	
21 「iDeCo（個人型確定拠出年金）の上限引き上げ」（拠出限度額と受給開始年齢の上限）	
22 「NISA（少額投資非課税制度）の抜本的な拡充」	
23 「資産所得伴うゴミ削減」	
24 「質の高い医療の実現」	
25 「持続可能なエネルギー供給の実現」	
26 「雇用調整助成金の見直し」	
27 「副業の規制緩和」	
28 「週休3日制の実現」	
29 「フリークライマーの登録制度」	
30 「イノベーションの実現」	
31 「海外からの輸入品の税金負担の見直し」（日本がなるために国が支援する）	
32 「半導体等の供給の確保」	
33 「アジア圏の開拓と資源供給の強化」（拠点都市への支援や企業の協業・誘致促進・外国人起業家のビザの利便性向上など）	
34 「特別高度人材制度（J-Skip）」（学歴・職歴・年収が一定の水準以上の外国人の在留資格を優遇する制度）	
35 「未来創造人材制度（J-Find）」（優秀な海外大学等の卒業生が日本で就職・起業をする際の在留資格の優遇制度）	
36 「2030年度の温室効果ガス46%削減」（2021年に、2013年度比で46%削減することを菅政権が発表）	
37 「2050年カーボンニュートラルの実現」（2020年に菅政権が宣言。温室効果ガスの排出量と吸収量を均衡させる（実質排出量ゼロ）こと）	
38 「産業の非化石エネルギー転換」（エネルギー使用量の多い製造業の燃料・原料の転換を重点的に）	
39 「再エネ導入に向けたイノベーションの加速」（次世代太陽電池や洋上風力などの新技術を通じた技術自給率の向上を目指す）	
40 「次世代革新炉の開発・建設」（新たな安全メカニズムを組み込んだ炉で、安全性向上を目指す）	
41 「水素基本戦略」（令和5年6月に閣議決定された。2030年ころの商用化を目指す）	
42 「成長志向型カーボンプライシング構想」（今後10年間で15兆円超の官民GX投資を目指す）	
43 「脱炭素先行地域の選定」（地域・暮らしの脱炭素化に向けて、2025年度までに少なくとも100か所を選定予定）	
44 「動脈連携による資源循環の加速」（生産から小売りまでの動脈と、消費後のリサイクルなどの静脈を連携させる）	
45 「国際金融センター機能の強化」（日本をアジアにおけるGX投資のハブとするための取り組み）	
46 「グリーンファイナンスの拡大」（地球温暖化対策や再エネ等の取り組みに特化した資金調達の拡大）	
47 「サステナブルファイナンス全体の推進」（環境（E）、社会（S）、ガバナンス（G）課題の解決を目指した投資などの金融サービス）	
48 「行政手続のデジタル完結」（様々な行政手続きにおける紙などのアナログ申請をなくし、デジタルで手続きを完結させる）	
49 「サイバーセキュリティ戦略」（令和3年9月に閣議決定された。デジタル化に伴う情報の機密性（他人に見られない）、完全性（情報が改ざなされたり消えたりしない）、可用性（いつでも取り出せる）の確保）	
50 「分散型のデジタル社会の実現」（ブロックチェーン等のデジタル技術を活用した、脱中央集権社会への移行）	
51 「マイナーポータルの利便性向上」（マイナーポータルに紐づく情報を各個人が確認できるマイナーポータルの利便性向上）	
52 「中央銀行デジタル通貨（CBDC）」（政府発行のデジタル通貨の検討を進める）	
53 「公共交通機関の利便性向上」（公共交通機関の利便性向上を実現するための取り組み）	

前代未聞！
106の政策の「認知」と「興味」を聴取



※

※

※

※

※

※

※

※

※

※

※

※

※

※

※

※

※

※

※

※

※

※

※

※

※

※

※

※

※

※

※

※

※

※

※

※

※

※

※

※

※

※

※

※

※

※

※

※

※

- 1 「賃金と物価の好循環」（賃金の上昇や適切な価格転嫁などによる物価高への対策）
 2 「下請取引適正化」（発注企業がその立場を利用して下請け企業に対して不当な取引条件を課す問題の解消）
 3 「中小企業の価格転嫁対策」（資源価格の高騰などに対する対応）
 4 「最低賃金の継続的引上げ」（賃金の上昇による金融緩和によって実現される経済成長の指標）
 5 「DX化に拘束」（少子化対策を早急に大規模に実施すること）
 6 「DXの利活用を通じた行政の徹底した効率化」（国や自治体の業務をデジタルを活用して効率化すること）

例えば、提示した政策名と説明はこんな感じ

- 7 「インパクト投資の促進」（社会的起業家への支援を強化するための投資。年度内に普及に向けた基本的指針を策定予定）
 12 「大企業によるオープンイノベーションを促進」（税制措置や経営資源のカーファウトの加速などによる）
 13 「国際卓越研究大学の選定」（科学技術立国再興のため、我が国全体の研究力向上を牽引する大学を選定）
 14 「文理の枠を超えた多様性のあるイノベーション人材の育成強化」（学部再編、先端技術に対応した高等教育の高度化、文理横断的な入試、学びの転換の促進など）
 15 「地域社会・経済に好循環を生む持続可能な観光地域づくり」（自然・文化の保全と観光収入の増大をバランスさせるため、観光資産の高付加価値化を進める）
 16 「アジアGXコンソーシアムの組成」（CO2排出量を含む企業データを集約し、アジアにおけるGX金融ハブを形成）

賃金と物価の好循環

(賃金の上昇や適切な価格転嫁などによる物価高への対策)

- 29 「フリーランスが安心して働くことができる環境の整備」（政府がガイドラインを策定し、フリーランスの保護ルールを整備）
 30 「イノベーション拠点としての立地競争力の強化」（民間企業の知的財産創出に向けた研究開発投資を促進する税制など）
 31 「海外からの人材・資金を呼びこむためのアクションプラン」（令和5年4月26日に、対日直接投資推進会議にて決定された）
 32 「半導体等戦略分野への投資促進」（グローバルサプライチェーンの中核に日本がなるために国が支援する）
 33 「アジア最大のスタートアップハブ形成」（拠点都市への支援や企業の協業・誘致促進、外国人起業家のビザの利便性向上など）

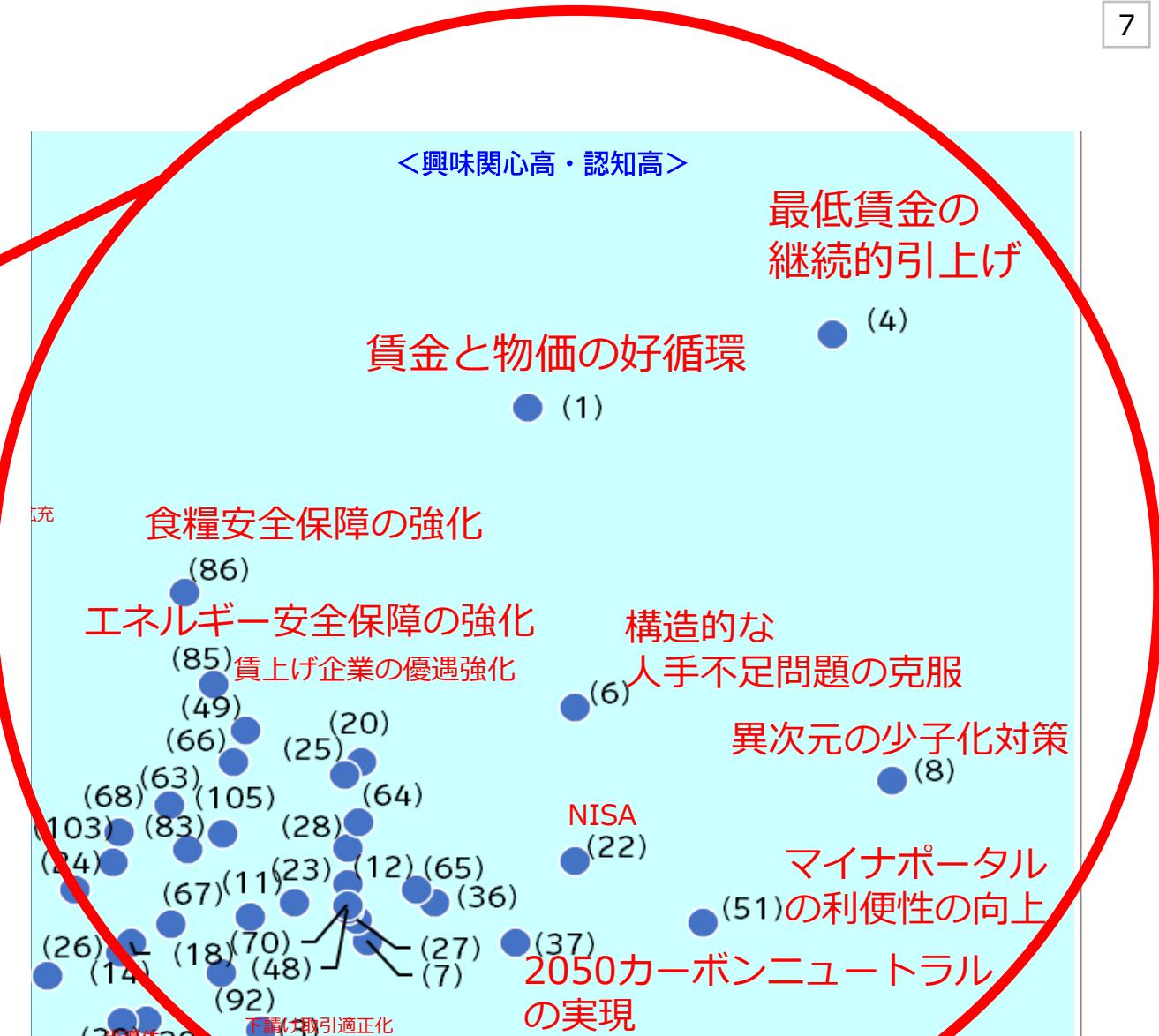
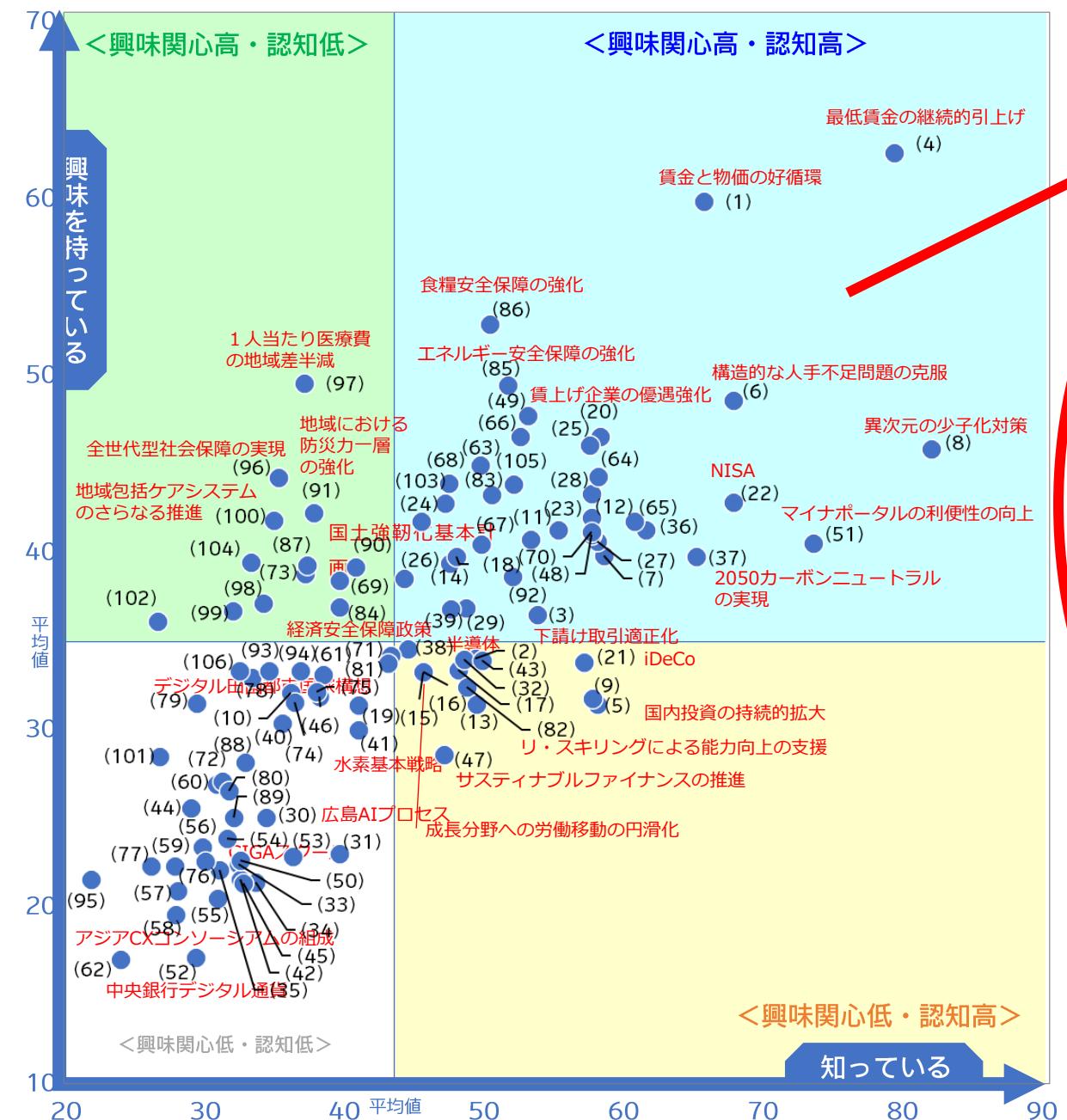
- 82 「自由で開かれたインド太平洋の実現」（インド洋と太平洋を繋ぎ、アフリカとアジアを繋ぐことで国際社会の安定と繁栄の実現を目指す）
 83 「サイバーセキュリティ強化、能動的サイバー防衛の実施など）
 84 「経済安全保障政策の推進」（我が国の自律性の向上、技術等に関する優位性、不可欠性の確保などに向けて必要な経済施策を講じる）
 85 「エネルギー安全保障の強化」（安定的に安価なエネルギー供給のため、エネルギー危機に耐えうる需給構造に転換する）
 86 「食料安全保障の強化」（安定的な輸入と備蓄を組み合わせつつ、輸入依存度の高い食料の国内生産力拡大も推進）

食糧安全保障の強化

(安定的な輸入と備蓄を組み合わせつつ、輸入依存度の高い食料の国内生産力拡大も推進)

- 92 「中央銀行デジタル通貨（CBDC）」（政府発行のデジタル通貨の候補を進める）
 93 「「専門性の高い教員の育成」（安定的な財源を確保しつつ、家庭の経済事情にかかわらず、誰もが学ぶことのできる環境をつくる）
 94 「広島AIプロセス」（G7広島サミットで合意された、AIの国際的なルール作りに向けた議論）
 105 「教育・研究・ガバナンスの一体的改革」（大学の運営改革や、若手研究者の支援の強化などを通じて研究の質や生産性の向上を目指す）

■2023年度骨太の方針各政策における国民の認知度と興味度



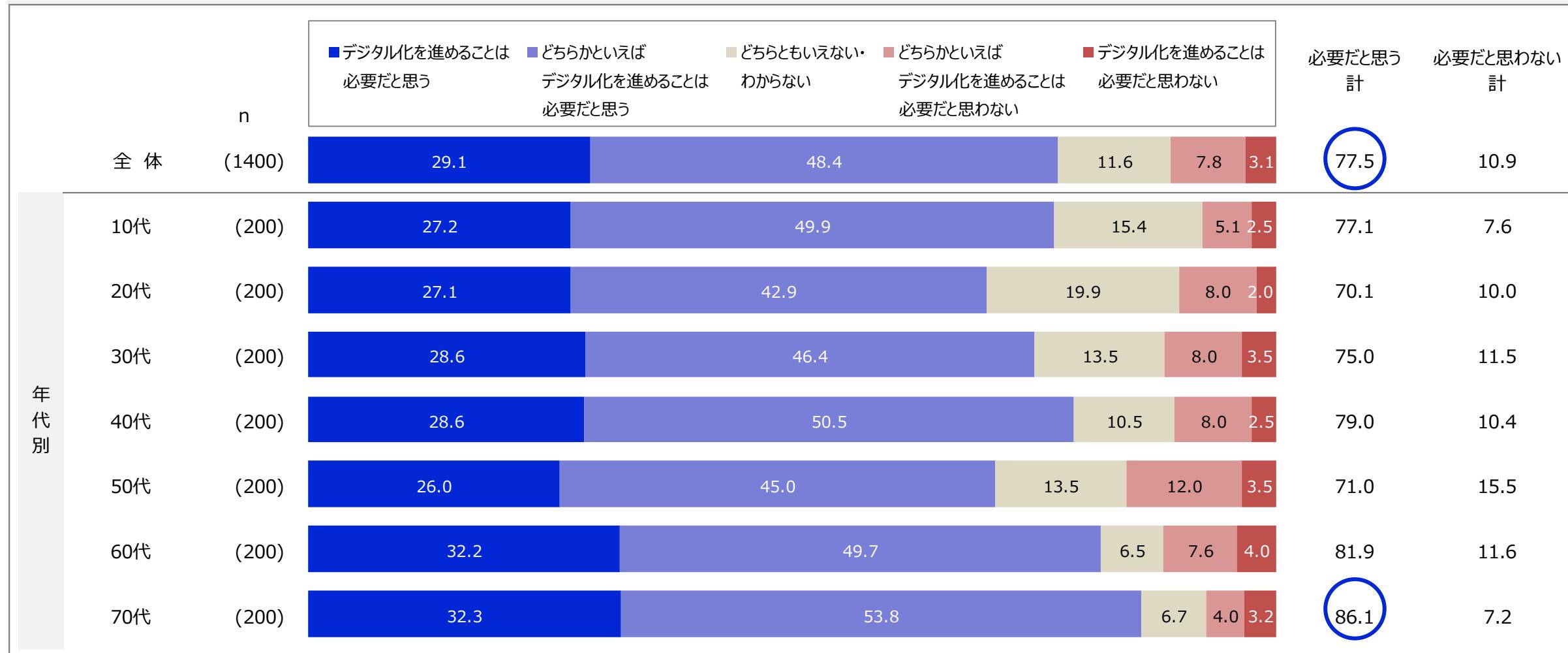
【調査概要】電通オリジナル調査「政策調査」対象：全国一般男女15～79歳（中学生除く） サンプル数：4200人 調査実施期間：2023年7月21日～23日

No.	政策名称	興味度	性別		年代							居住地			No.	政策名称	興味度	性別		年代							居住地		
			男性	女性	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代	大都市	中間都市	農村部				男性	女性	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代	大都市	中間都市	農村部
1	賃金と物価の好循環	59.4	59.2	59.5	50.9	49.4	57.6	58.2	55.6	66.4	70.2	61.0	62.8	58.4	54	スタートアップを生み育てるエコシステムの形成	23.8	27.3	20.	35.2	28.8	22.8	18.2	17.3	21.4	31.8	25.3	23.4	21.6
2	下請取引適正化	33.8	38.4	29.	29.1	28.6	27.7	30.6	30.5	37.2	48.1	34.8	34.3	36.3	55	スタートアップ育成5か年計画	20.4	24.3	16.	34.4	23.1	20.6	17.8	17.0	18.4	21.4	21.7	21.3	17.3
3	中小企業の価格転嫁対策	36.3	40.7	32.	31.9	32.1	33.0	34.5	33.5	39.7	45.5	36.5	38.0	39.0	56	グローバル・スタートアップ・キャンバス創設	23.3	26.3	20.	34.4	26.7	21.7	18.3	19.1	21.9	29.6	25.3	21.8	22.4
4	最低賃金の継続的引上げ	62.2	59.3	65.	59.0	58.1	61.3	62.9	58.7	63.4	68.5	64.0	65.3	58.1	57	インバウンド投資の促進	20.8	25.3	16.	31.7	24.1	23.7	17.6	17.5	17.1	22.7	22.6	19.8	20.1
5	国内投資の持続的拡大	31.3	36.8	25.	33.0	29.5	31.6	29.0	27.5	29.6	40.0	32.8	32.6	30.4	58	大企業によるオーブンイノベーションを促進	19.5	22.9	16.	29.6	22.6	19.9	15.8	18.1	20.3	18.2	21.5	18.9	16.0
6	構造的な人手不足問題の克服	48.3	49.0	47.	45.2	39.7	41.9	42.8	43.0	55.2	65.7	50.4	49.8	47.3	59	国際卓越研究大学の選定	22.2	23.8	20.	31.2	21.0	20.0	16.7	17.3	22.8	32.5	24.1	21.7	22.5
7	2%の物価安定の目標の持続的・安定的実現	39.6	40.8	38.	37.2	36.7	37.4	35.8	35.2	43.4	49.5	41.4	40.4	38.1	60	文理の枠を超えた多様性のあるイノベーション人材の育成強化	26.8	28.8	24.	37.5	29.5	26.6	22.4	20.4	24.6	34.6	29.4	25.2	24.4
8	異次元の少子化対策	45.6	45.6	45.	48.0	45.6	48.4	40.5	33.3	46.1	59.9	47.5	47.4	44.6	61	地域社会・経済に好循環を生む持続可能な観光地域づくり	32.9	33.3	32.	42.5	32.0	28.7	27.7	27.4	35.2	43.1	35.2	31.9	31.9
9	DXの利活用を通じた行政財政の徹底した効率化	31.6	36.2	27.	28.6	30.5	27.7	27.7	28.0	34.7	42.0	35.3	30.6	27.8	62	アジアGXコンソーシアムの組成	17.0	18.6	15.	23.7	17.1	16.6	11.4	15.4	14.9	24.7	17.8	17.1	16.0
10	EBPMを通じた晝い財政支出の徹底	31.9	32.0	31.	26.8	27.6	29.7	27.6	26.4	34.4	46.7	35.6	28.6	30.4	63	ライフステージ~若い世代の所得向上に向けた取組み	44.6	41.8	47.	46.7	47.6	50.6	41.0	32.5	43.0	54.7	45.9	45.1	44.6
11	金融資産所得の拡大による家計所得の増大	40.5	41.8	39.	37.3	38.7	45.2	43.1	37.5	38.4	41.1	43.1	41.4	38.2	64	全てのこども・子育て世帯を対象とする支援の拡充	44.0	40.8	47.	48.9	43.3	51.2	38.3	30.9	43.6	57.0	46.0	43.7	46.1
12	多様な働き方の推進	41.7	40.3	43.	45.2	42.6	43.2	40.2	38.4	39.0	47.2	44.6	42.3	37.9	65	共働き・共育への推進	41.5	36.9	46.	44.3	42.4	47.8	34.7	32.4	41.1	51.5	43.3	41.3	42.7
13	リ・スキリングによる能力向上の支援	31.3	32.5	30.	32.6	31.2	32.3	30.4	25.7	29.5	38.2	33.1	30.9	30.0	66	こども・子育てにやさしい社会づくりの意識改革	46.2	43.9	48.	50.8	48.5	53.1	37.9	36.8	44.6	57.6	47.8	47.4	44.4
14	個々の企業の実態に応じた職務給の導入	39.1	36.7	41.	41.6	39.4	42.7	38.7	34.5	37.3	42.0	39.8	39.5	40.9	67	新子育て安心プラン	40.2	36.6	43.	39.1	42.2	44.9	33.1	28.6	40.7	54.6	41.1	41.8	42.4
15	成長分野への労働移動の円滑化	33.0	34.3	31.	36.2	31.3	33.8	31.2	29.6	33.5	37.5	35.0	31.0	36.3	68	こどもの居場所づくりに関する指針	43.6	38.6	48.	48.7	38.8	48.6	34.4	34.5	46.8	57.9	44.5	44.9	45.2
16	教育訓練給付の拡充	33.1	32.6	33.	35.7	34.3	36.5	30.9	26.6	33.0	37.6	34.7	34.3	30.8	69	多様なニーズを有するこどもの地域の支援基盤強化	38.2	35.0	41.	40.5	34.0	43.7	32.1	28.7	41.5	49.1	40.5	38.1	36.1
17	雇用調整助成金の見直し	33.2	32.9	33.	36.0	34.7	39.9	39.5	39.2	43.9	47.8	40.7	40.0	39.9	70	女性活躍と経済成長の好循環	40.9	36.2	45.	44.7	39.5	38.2	34.8	36.2	40.6	55.1	44.4	40.8	36.0
18	失業給付制度の要件緩和	39.5	38.5	40.	36.0	34.7	39.9	39.5	39.2	43.9	40.1	40.7	40.0	39.9	71	包摂的な共生社会づくり	34.0	30.4	37.	38.4	26.2	30.6	26.5	29.1	40.3	48.5	35.8	35.4	31.4
19	求職・求人にに関する官民の基礎的情報の加工・集約	31.2	30.3	32.	37.8	34.4	34.4	31.7	26.1	28.1	30.8	32.5	31.1	31.9	72	公的役割を担う民間主体への支援強化	26.9	28.2	25.	35.8	24.7	26.8	20.4	22.0	28.1	36.9	30.5	23.7	24.8
20	賃上げ企業の優遇強化	46.3	46.9	45.	48.0	47.6	49.7	47.7	45.0	43.1	44.2	48.3	47.7	44.7	73	孤独・孤立対策の強化	38.6	35.7	41.	36.3	28.7	32.5	33.3	35.3	47.6	52.6	41.3	37.1	38.1
21	iDeCo	33.6	35.8	31.	31.2	37.5	40.3	36.3	32.5	29.2	28.2	35.7	33.7	33.0	74	デジタル田园都市国家構想	31.4	31.4	31.	31.7	28.7	30.1	22.8	28.1	34.1	44.8	34.0	30.1	31.4
22	NISA	42.6	46.2	39.	35.0	44.3	51.1	45.0	39.4	37.2	42.4	44.9	43.0	40.3	75	デジタルライフライン全国総合整備計画	32.0	34.3	29.	41.0	28.9	26.5	23.1	27.2	38.9	44.0	32.5	33.4	34.7
23	資産所得倍増プラン	41.0	44.1	38.	37.7	39.6	48.1	42.1	37.6	38.9	41.3	44.0	41.2	40.8	76	GIGAスクール構想	22.5	22.0	23.	34.7	20.3	22.6	19.2	18.3	21.3	28.9	25.0	20.3	22.6
24	質の高い公教育の再生	41.5	40.1	42.	44.6	34.1	41.2	38.0	34.	42.3	57.0	43.5	41.3	42.4	77	シームレスな拠点連携型国土	22.2	24.4	20.	31.8	23.2	25.2	15.9	19.1	22.5	25.4	24.4	20.1	22.7
25	持続可能な社会保障制度の構築	45.8	44.2	47.	43.9	36.4	41.0	39.2	43.0	53.6	60.5	48.4	45.5	45.1	78	個性を生かした地域づくりと関係人口の拡大	32.8	31.6	33.	41.7	29.5	29.9	27.4	26.3	34.4	45.7	35.2	31.5	30.1
26	雇用のセーフティネットの構築	38.3	37.1	39.	35.3	31.4	35.2	35.8	42.5	42.8	47.8	40.2	39.4	35.6	79	心豊かで多様性と活力のある文化芸術立国の実現	31.3	30.4	32.	37.4	26.7	29.7	26.7	26.6	32.5	43.0	34.0	30.0	30.8
27	副業・兼業の促進	40.4	39.4	41.	39.8	41.6	50.5	40.2	39.7	35.9	36.6	43.0	39.9	37.4	80	地域の実情に応じた地域スポーツ環境の総合的な整備	26.4	27.3	25.	35.0	28.4	26.1	22.1	19.2	26.4	34.5	27.7	25.2	29.3
28	週休3日制度の普及	43.1	42.5	43.	38.1	57.0	55.6	53.0	49.0	40.6	32.9	25.0	45.7	42.6	81	ヒロシマ・アクション・プラン	33.6	31.9	35.	39.6	28.2	28.8	23.6	29.9	37.6	50.9	36.0	32.7	32.1
29	フリーランスが安心して働くことができる環境の整備	36.6	36.9	36.	38.1	34.9	37.1	33.8	33.4	37.5	42.9	38.0	37.7	36.2	82	自由で開かれたインド太平洋の実現	32.2	38.0	26.	31.9	26.2	24.6	22.1	29.2	36.5	53.8	34.3	32.4	29.7
30	イノベーション拠点としての立地競争力の強化	24.9	28.2	21.	35.0	25.7	21.9	20.3	19.8	26.5	32.3	26.2	25.1	23.6	83	サイバー安全保障分野の能力向上	43.0	44.5	41.	38.5	27.7	28.9	34.3	40.6	55.9	68.1	46.0	44.1	39.2
31	海外からの人材・資金を呼び込むためのアクションプラン	22.9	26.3	19.	33.5	25.8	21.7	17.3	18.5	22.7	29.2	25.2	21.0	21.0	84	経済安全保障政策の推進	36.7	41.5	32.	36.7	27.3	28.9	32.1	30.9	44.8	53.7	38.6	37.8	33.8
32	半導体等戦略分野への投資促進	33.8	40.3	27.	35.7	25.2	25.4	25.6	29.9	40.8	53.1	35.6	34.4	33.1	85	エネルギー安全保障の強化	49.1	51.7	46.	42.0	34.5	38.2	41.1	47.4	59.9	72.5	51.7	49.8	49.3
33	アジア最大のスタートアップハブ形成	22.3	25.5	19.	30.9	22.2	19.6	18.4	18.5	22.7	29.8	24.2	21.1	22.4	86	食料安全保障の強化	52.6	51.5	53.	41.1	37.4	45.8	42.3	51.2	63.5	76.2	55.3	53.2	51.8
34	特別高度人材制度	21.3	22.3	20.	28.8	19.4	20.3	17.7	18.2	21.2	28.2	22.7	20.3	20.7	87	農林水産業の持続可能な成長の推進	39.1	42.4	35.	36.8	27.0	31.1	31.0	36.2	45.8	61.4	40.3	39.6	40.3
35	未来創造人材制度	22.0	22.4	21.	29.5	21.4	17.9	18.7	19.0	22.4	29.6	23.6	19.8	24.0	88	対外経済連携の促進	28.0	32.8	23.	29.3	22.3	23.5	22.6	26.8	31.1	40.1	29.8	28.9	25.

「社会インフラのデジタル化」に関する意識

Qあなたは社会や生活を支える公共の仕組みのデジタル化が進んでいることや、今後より便利にするためにデジタル化を進めていくことについて、どのように感じますか。

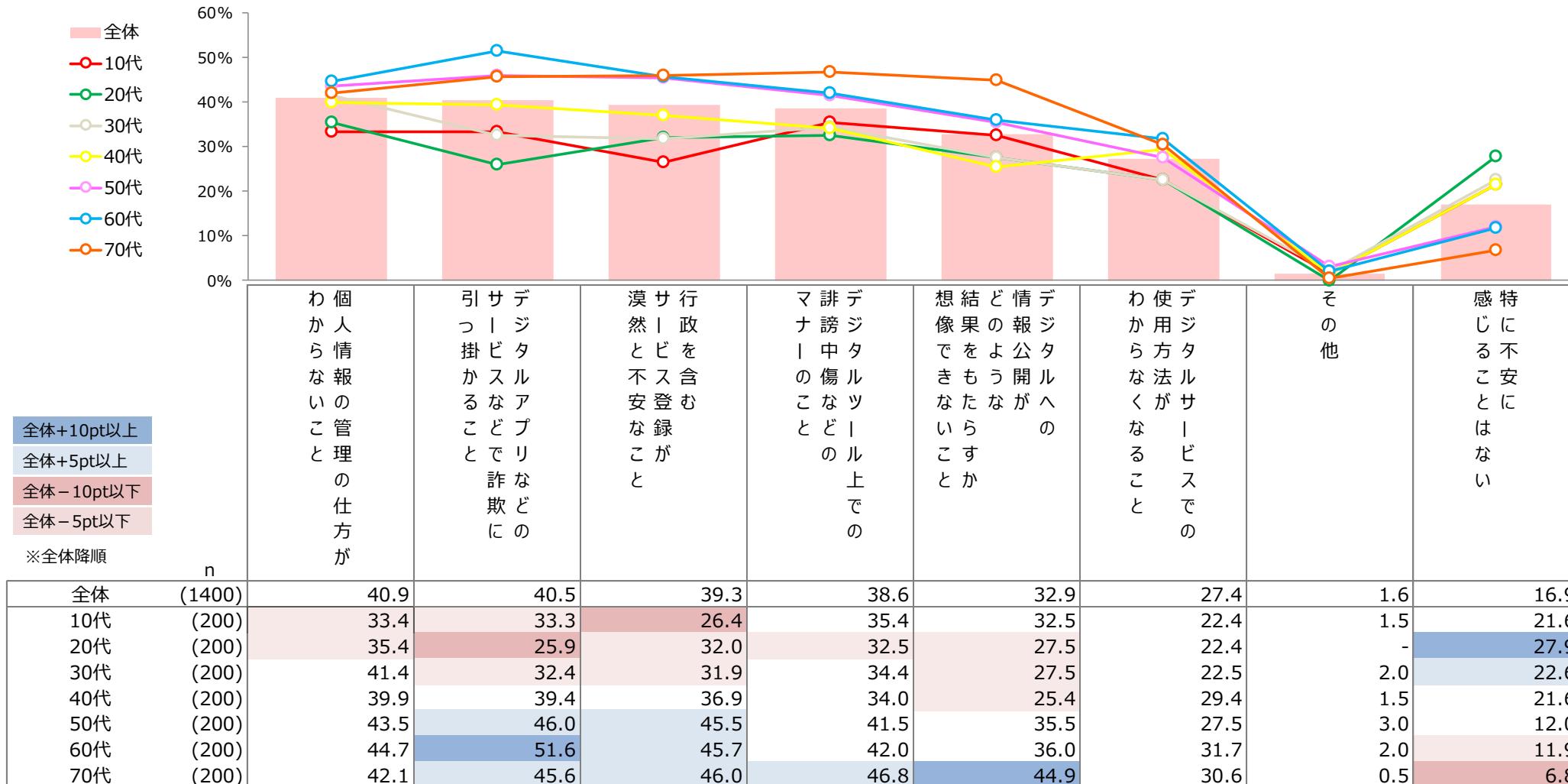
- 社会や生活を支える公共の仕組みのデジタル化を進めることへの必要性は「必要だと思う計」(77.5%)と高い。
- 必要性は70代で特に高い。



デジタルツールの使い方に関する不安

Q 最近のデジタルツールの使い方に関して、どのようなことに不安を感じますか。

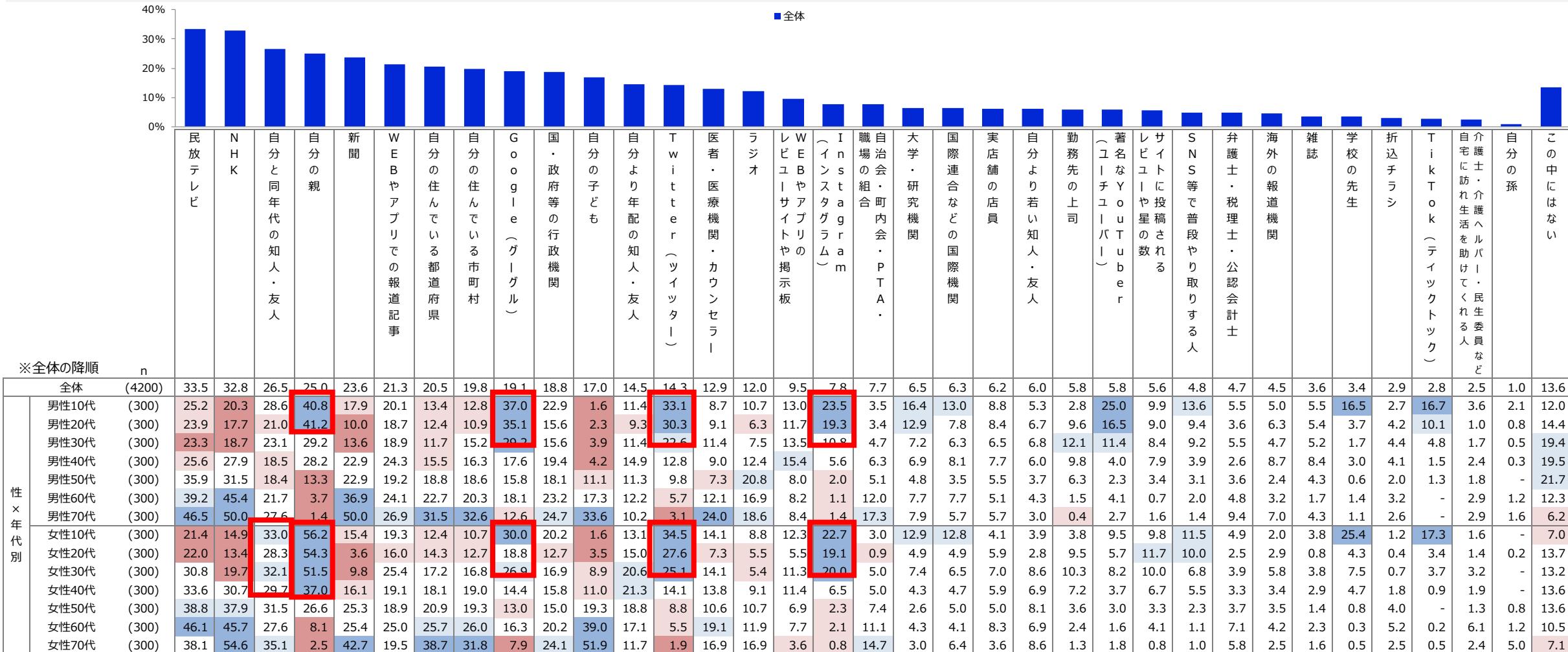
- 「個人情報の管理の仕方がわからない」「サービスなどで詐欺に引っかかること」「行政を含むサービス登録が漠然と不安」が約4割を占める。



信頼する情報源

Q下記の中で、社会に何か出来事があったとき、自分がどう行動すべきかなど、あなたが物事を判断するときに、信用して参考にすることが多い人、組織や媒体などをすべてお知らせください。

- 「民放テレビ」「NHK」「自分と同年代の知人・友人」「自分の親」「新聞」が上位となる。
- 10代、20代は「自分の親」「Google」「Twitter」「Instagram」がテレビよりも信頼する情報源として高く上がってくる。



30ss以上かつ、全体より+10ポイントに■、+5ポイントに■、-5ポイントに■、-10ポイントに■

平日のプラットフォーム接触時間

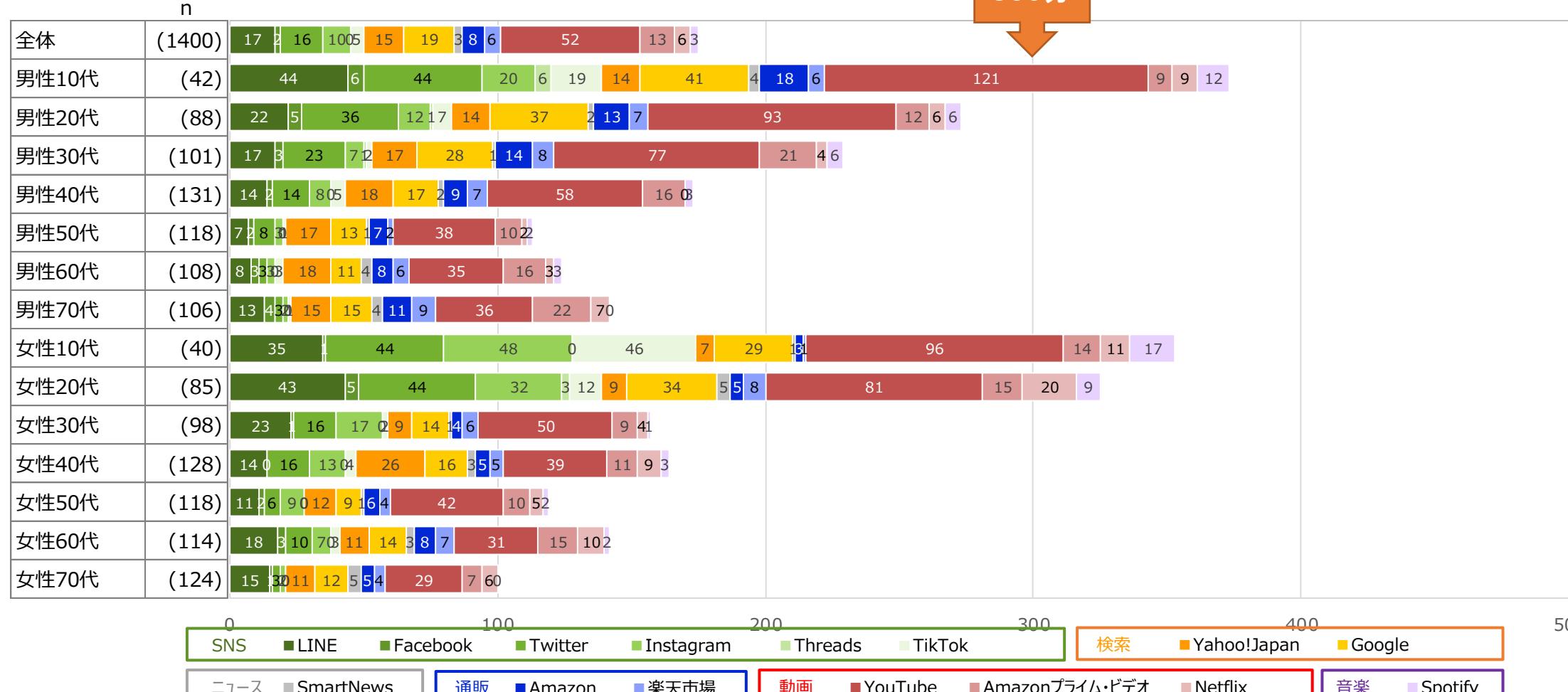
Q以下について、あなたが平日の1日あたりで触れている時間についてお知らせください。

- 平日のプラットフォーム接触時間の4割を動画に、SNSで接触時間の3割を占め、総接触時間の7割を占める。
- 男女10代、女性20代は平日のプラットフォーム接触時間が300分を超え、他の年代と比べると総接触時間が多い。

平日による各プラットフォーム接触時間（一人当たり平均 単位：分 小数点以下切捨て）

300分

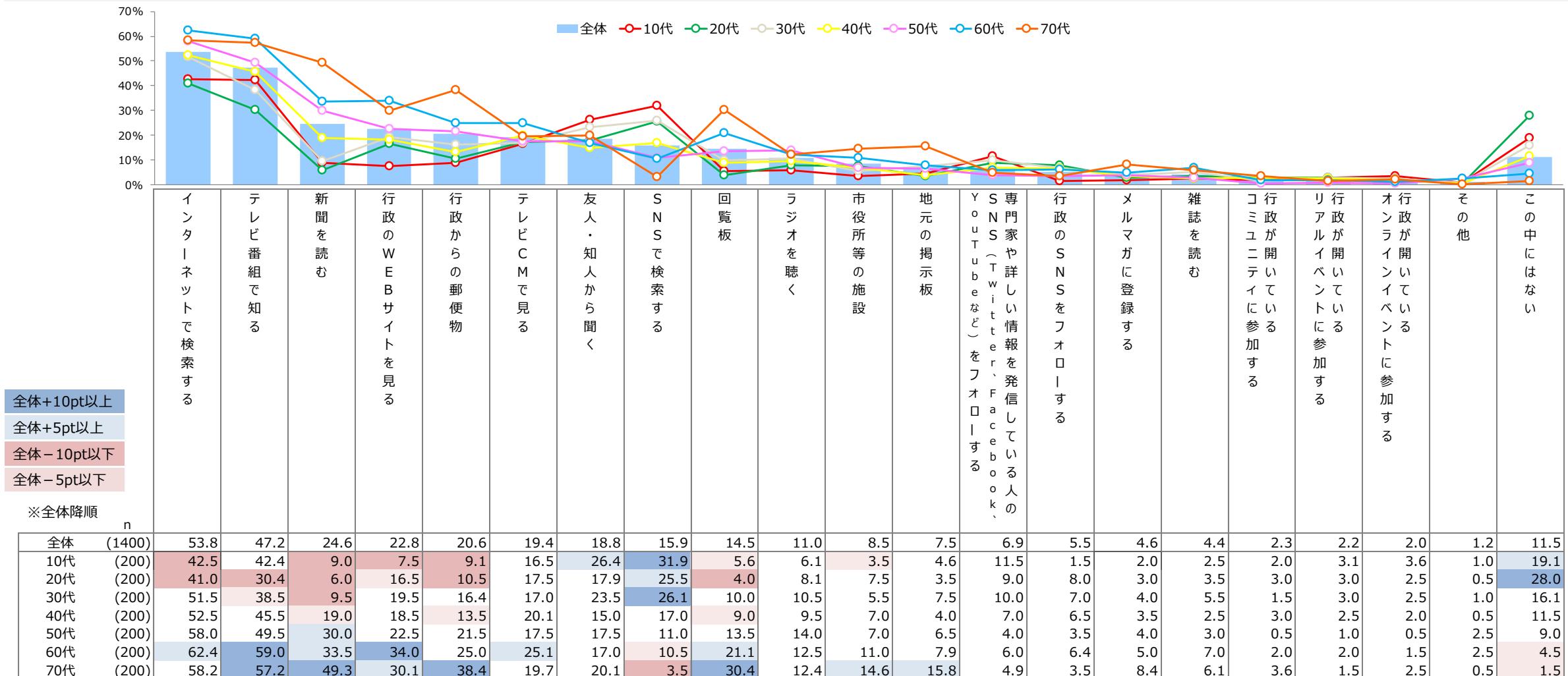
基数：全体 ※週1回以上接触なしの人は「0」として集計



行政情報を知るときに参考にしている媒体

Qあなたが行政の情報を知るために参考にしている媒体をすべてお知らせください。

- 「インターネット検索」「テレビ番組で知る」「新聞を読む」「行政のWEBサイトを見る」が上位に上がってくる。
- 60代70代は「インターネット検索」とマスメディア、「行政のWEBサイト」、10代20代は「友人知人から聞く」や「SNSでの検索」が高い傾向。





先進事例として、
民間企業
の事例を参考にする

トヨタイムズ

2019年 1月より「トヨタイムズ」が始まりました。

トヨタイムズは、これまでの社内報やインターネットといった閉じられた世界から飛び出し、テレビやラジオ、新聞、インターネットといったメディアを使ったオープンな世界に飛び込んでいく、「新たなインターナル・コミュニケーション」への挑戦です。

未来のモビリティ社会の実現に向けて

トヨタのありのままの姿を株主の皆様にもできる限りオープンにしていきたいと思います。



新着 最近のトヨタ 特集 連載 コラム トヨタイムズニュース
トヨタイムズスポーツ SDGs

JP | EN



JAPAN MOBILITY SHOW 2023
トヨタイムズ スペシャルサイト

ニュース、スポーツでオリジナルコンテンツ配信！ >>>

NEW ARRIVALS



コーポレート

「自動車づくりは一生をかける面白さがある」全米ディーラーに佐藤社長が語…
— 全米ディーラーに佐藤社長が語ったこと

佐藤恒治 # トヨタ販売店 # トヨタグローバル

2023.11.06



コーポレート なぜ、それ、…

風あげを研究するトヨタ社員。その目的はまさかの…



クルマ JAPAN MOBILITY SHOW 2023

ジャパンモビリティショー2023開幕！新しい未来が一挙集結

一般公開が始まったJAPAN MOBILITY SHOW 2023。豊田会長と佐藤社長が語ったショーへの想いとは？見どころ満載の会場からレポート。



トヨタイムズ



- ホーム
- ショート
- 登録チャンネル

マイページ >

- 履歴
- 後で見る
- 高く評価した動画



トヨタイムズ

@toyotatimes · チャンネル登録者数 30.7万人 · 499 本の動画

幸せを量産できる企業にどうしたらなっていけるのか? >

[toyotatimes.jp](#)、他 1 件のリンク

チャンネル登録

ホーム

動画

ショート

ライブ

ポッドキャスト

再生リスト

コミュニティ

チャンネル

概要



【後編】豊田会長練り歩き ジャパンモビリティショー2023...

164,396 回視聴 · 10日前

#豊田章男 会長が #ジャパンモビリティショー 2023の会場を練り歩く！

後編ではモビリティが叶える「未来の東京」の暮らしを体験！ 練り歩きを終えた豊田会長が思い描いた未来とは？

【チャプター】

00:00 笑顔溢れる「未来の東京」！主役はモビリティ！ ...

▽ 他 32 件を表示

(出典：トヨタイムズYouTubeトップページより)

1 : INSIDE TOYOTA

社内行事も含め、今まで、あまり報じられなかったトヨタの内側をお伝えいたします。

2019.08.20 UPDATE!



#30 「タテシナ会議はじまる」
～交通事故死傷者ゼロへの挑戦～(前編)

聖光寺は交通安全祈願のためにトヨタとトヨタ販売店が建立したお寺。毎年夏季大祭を開き、今年で49回目を迎える。

2019.10.09 UPDATE!



#36 秋の交渉のゆくえ トヨタ労使は「共通の基盤」に立てるのか? ～冬賞与回答に込めた想い～

異例となる秋の労使協議会。豊田が語ったのは、1962年に会社と組合が結んだ「労使宣言」に対する想いだった。

2 : スペシャル

特別なゲストとのトークなど、トヨタイムズならではのオリジナルコンテンツをお届けいたします。

2019.09.04 UPDATE!



**【第1章】鈴木修会長×豊田章男社長
(聞き手 小谷真生子)「ここだけの話」**

100年に一度の大変革の時代。生き抜くための「経営力」について鈴木会長と豊田社長が語る。

3 : 特集

イベントや発表案件に関わらず、皆様にお伝えしたい様々なテーマについて、特集としてお届けいたします。

2019.06.24 UPDATE!



**連載企画:「継承者」
～創業の原点を考える～ その1**

トヨタらしさを取り戻すための闘い。豊田が言う「トヨタらしさ」とは何か。何を取り戻さなければならないのか。

5：モリゾウのつぶやき

経営者、ドライバー、ときどきラジオDJ。様々な顔を持つモリゾウこと豊田社長が日々感じていることを本音でつぶやきます。

2019.06.27 UPDATE!



#15「下山テストコース」

新たにできたテストコース。第1、第2が未完成の中、第3周回路、通称・カントリーラインがまず出来たその意味は？



先進事例として、

民間企業
の事例を参考にする

KDDI、渋谷未来デザイン、渋谷区観光協会は2023年10月27日から10月31日の期間中
「バーチャルハロウィーン2023」を開催



渋谷区"Stay Virtual"に協力

(出典：KDDI 企業HP 企業情報リリースより)



10
28
SAT

トークライブ αU Presents
ハロウィーンの壁を越えろ! ~壁キャラ大反省会!~

10
29
SUN

トークライブ αU Presents
ハロウィーンの壁を越えろ! ~トークライブ延長戦~

10
29
SUN

トークライブ αU Presents
人気声優大集合!
ハロウィーンParty

10
30
MON

XRライブ BOSO TOKYO Presents
ReVers3:x
Feat.GIRL'S POWER

10
31
TUE

トークライブ αU Presents
FRUITS ZIPPER
TRICK or FRUITS? 2023

10
31
TUE

音楽ライブ αU Presents
新しい学校のリーダーズ
[ATARASHII GAKKO!] VIRTUAL LIVE - 2021ver

進化する技術・テクノロジー

音楽・お笑いライブなどエンタメイベントや街をテーマにしたゲームコンテンツ

計10組以上のアーティストや芸人による音楽・お笑いライブを開催します。バーチャル空間で友達同士またはファン同士と一緒に盛り上がりながらお楽しみいただけます。また「バーチャル渋谷」の街中にちらかっているゴミを参加者できれいに掃除していくゲームを展開します。

アーティストやお笑い芸人と音声通話で密なコミュニケーションができる ファンミーティング

アーティストやお笑い芸人と交流できる、ファンミーティングイベントを実施します。リアルの世界では難しい、自分が応援している人と同じ空間を共有する体験がバーチャル空間で可能になります。さらに、視聴者側から推しへのアクションがテキストでのコメントが中心となる一般的な配信アプリと異なり、aU metaverseの機能を活かし、推しとファンの両方が音声で会話することできるようになり、双方向コミュニケーションを実現します。

誰もがコンテンツを発信できるライブ配信機能

KDDIのメタバースaU metaverseでは、「バーチャルハロウィーン2023」開催にあわせて、「ライブ配信」機能を一般提供します。これまで一部ライバーのみに開放していた「ライブ配信」機能を、誰もが使えるようになることで、いつでも自由にバーチャル空間でのライブ配信が可能となります。一般開放により、ライバーとファンと一緒に過去最大規模のコミュニティを作りあげるイベントを開催します。なお参加するライバーは、現在のプラットフォームに加えた新たなコンテンツの発信手法として利用できるほか、ファンなどからデジタルプレゼント（投げ銭）をもらって収益を得ることができます。

渋谷区公認配信プラットフォーム バーチャル渋谷

渋谷はいま、デジタル空間上に
「もう1つの渋谷」を
つくろうとしている。
現実とデジタル。
2つの渋谷をつなげ、
新たな文化を発信していくために。
auと渋谷が共に、
デジタル都市構想を立ち上げます。



バーチャル渋谷とは

バーチャル渋谷とは「渋谷区」公認の配信プラットフォームです。バーチャルイベントプラットフォーム「cluster」アプリから、スマートフォン・PC・VRゴーグルで利用が可能です。

(出典：バーチャル渋谷HPより)



住民・生活者
の意識を把握する

住民の求める声
に耳を傾けるが
何よりも大事

特に政策に関心の
高い10代との向
き合いが重要

各年代に応じた
メディアの活用
10代20代SNS
60代70代テレビやWebサイト

デジタルツールを活用した 住民との信頼構築に向けたヒント

民間企業
の事例を参考にする



オープン・透明性

即時性と
インタラクティブ

テクノロジー
進化への
キヤッチャップ



住民・生活者
の意識を把握する

住民の求める声
に耳を傾けるが
何よりも大事

特に政策に関心の
高い10代との向
き合いが重要

各年代に応じた
メディアの活用
10代20代SNS
60代70代テレビやWebサイト

デジタルツールを活用した 住民との信頼構築に向けたヒント



民間企業
の事例を参考にする

デジタルは
あくまで手段

丁寧な
対話
を続けることが重要

オープン・透明性

即時性と
インタラクティブ

テクノロジー
進化への
キャッチアップ

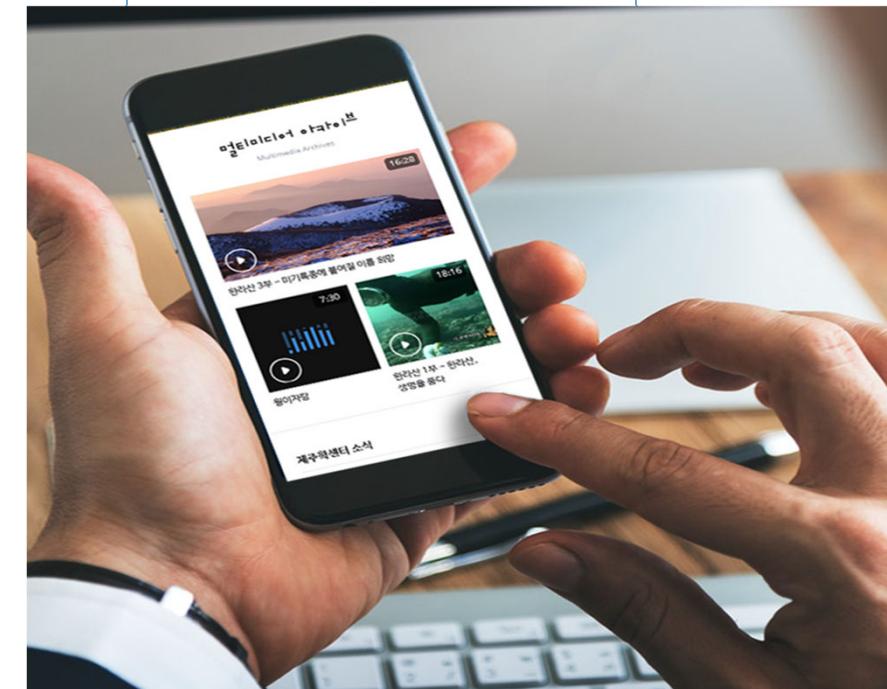


ご清聴ありがとうございました

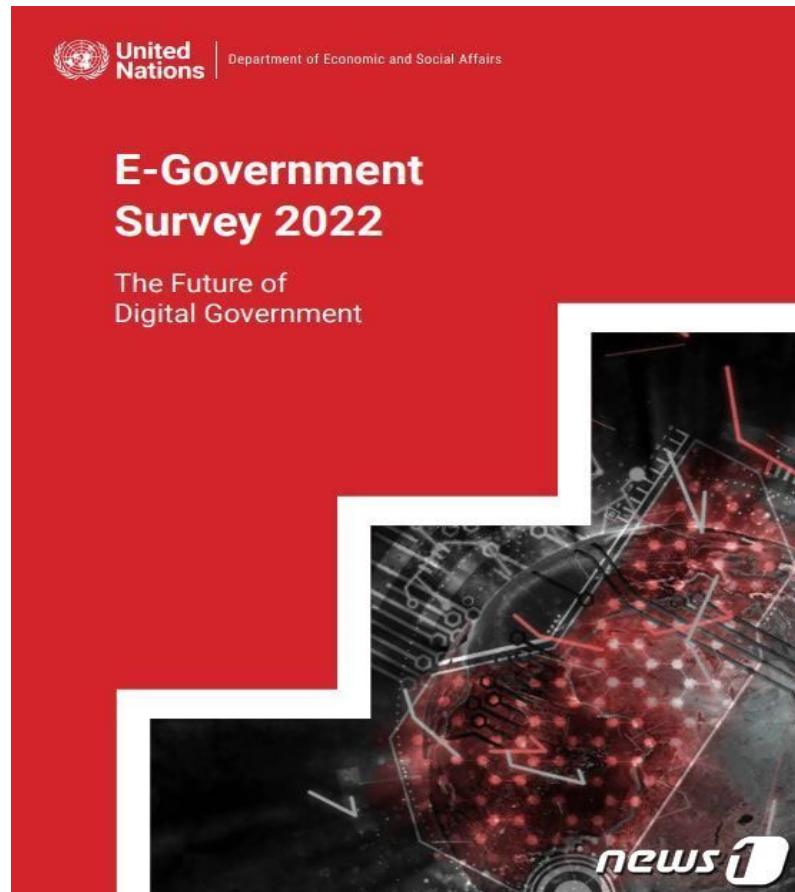
アドバイザー意見

「デジタルツールの活用による住民との信頼関係の構築: DX=信頼への近道」

大邱大学 高選圭



UN E-Government survey 2022 : EGDI: E-Government Development Index



第1位:デンマーク(0.9717)
第2位:フィンランド(0.9533)
第3位:韓国(0.9529)

- UN 193か国会員国が対象
- オンラインサービス
- 通信基盤環境
- 人的資本

→→3位は、多様なオンライン
コミュニケーションの結果

地方議会DXの方向性：韓国の運用から見えるもの

- ①議員活動の見える化・情報発信の多チャンネル化
 - ②官民協働：民間の優れるもの・便利なものは利活用
 - ③ DATA基盤の政策決定(DBPM)：Data Based policy Making →→ 信頼される議会へ
- もう一つの議会（オンライン・スマホの中の議会）

① 議員が多様なメディア空間で住民とコミュニケーション：議員活動の見える化

서울특별시의회
#SNS

서울특별시의회의 새로운 다양한 소식을 들어보세요.



YouTube



Instagram



Blog Twitter



1. Meta/Youtube/Instagram /Kakao/Twitter/LINE……

2.多くの分身を持つ議員を目指せ

3.住民の生活パターン多様化→
→情報発信の多チャネル化

済州特別自治道議会の会議は全て生放送



인터넷방송 바로가기



인터넷방송 바로가기



本会議場のデジタル: 電子議決



本会議の一般質問の中継：多様な機材の活用

경기도의회 영상회의록

제371회 [임시회] 제4차 본회의

■ 발언자 정보

경기도의회
제371회 임시회 제4차 본회의 회의개의

■ 회의진행순서

회의진행
제371회 임시회 제4차 본회의 회의 개의 00:00:00

5분발언	5분자유발언(김영기 의원)	00:01:42
5분발언	5분자유발언(김선영 의원)	00:08:11
5분발언	5분자유발언(최승용 의원)	00:14:32
5분발언	5분자유발언(김미숙 의원)	00:22:07

회의록 보기 [프린트](#)

○ 김영기 의원

존경하는 1,400만 경기도민 여러분! 염종현 의장님과 선배·동료 의원 여러분! 김동연 지사님, 임태희 교육감님 그리고 이 자리에 계신 공직자와 언론인 여러분! 안녕하십니까? 여성가족평생교육위원회 소속 국민의힘 의왕 출신 김영기 의원입니다.

오늘 본 의원은 동물 방역의 최전선에서 분투하는 수의직 공무원들이 제대로 일할 수 있도록 처우 개선을 촉구하기 위해 이 자리에 섰습니다. 최근 아프리카돼지열병, 조류인플루엔자 등 악성 가축 전염병이 경기도에 지속적으로 발생하고 있습니다. 이들 전염병은 전파 속도가 너무나 빨라 대규모 살처분을 해야 하는 등 피해가 엄청나게 큽니다. 특히 조류인플루엔자는 사람도 감염될 수 있는 병이기 때문에 도민의 건강까지 위협할 수 있습니다. 38도 이상의 열과 기침, 심하게는 폐렴이나 호흡부전으로 사망할 수도 있는 위험한 전염병입니다. 실제로 아프리카돼지열병은 올 1월부터 4월까지 도내 6건 발생해 약 183억 원의 경제 손실이 발생했습니다. 조류인플루엔자 역시 지난해 11월부터 올 2월까지 도내에 12건이 발생해 피해 폭7에 약 120억 원의 예산이 들어가야 했습니다. 지금까지의 경제 손실만 약 300억 원이 넘는 엄청난 피해입니다.

경기도의회 영상회의록

제371회 [임시회] 제4차 본회의

■ 발언자 정보

성명: 김영기 (金英基)
소속정당: 국민의힘
선거구: 의왕시 제1선거구

■ 회의진행순서

5분발언 5분자유발언(김영기 의원) 00:01:42
5분발언 5분자유발언(김선영 의원) 00:08:11
5분발언 5분자유발언(최승용 의원) 00:14:32
5분발언 5분자유발언(김미숙 의원) 00:22:07
5분발언 5분자유발언(오준환 의원) 00:28:23
5분발언 5분자유발언(변재석 의원) 00:36:14

회의록 보기 [프린트](#)

○ 김영기 의원

존경하는 1,400만 경기도민 여러분! 염종현 의장님과 선배·동료 의원 여러분! 김동연 지사님, 임태희 교육감님 그리고 이 자리에 계신 공직자와 언론인 여러분! 안녕하십니까? 여성가족평생교육위원회 소속 국민의힘 의왕 출신 김영기 의원입니다.

오늘 본 의원은 동물 방역의 최전선에서 분투하는 수의직 공무원들이 제대로 일할 수 있도록 처우 개선을 촉구하기 위해 이 자리에 섰습니다. 최근 아프리카돼지열병, 조류인플루엔자 등 악성 가축 전염병이 경기도에 지속적으로 발생하고 있습니다. 이들 전염병은 전파 속도가 너무나 빨라 대규모 살처분을 해야 하는 등 피해가 엄청나게 큽니다. 특히 조류인플루엔자는 사람도 감염될 수 있는 병이기 때문에 도민의 건강까지 위협할 수 있습니다. 38도 이상의 열과 기침, 심하게는 폐렴이나 호흡부전으로 사망할 수도 있는 위험한 전염병입니다. 실제로 아프리카돼지열병은 올 1월부터 4월까지 도내 6건 발생해 약 183억 원의 경제 손실이 발생했습니다. 조류인플루엔자 역시 지난해 11월부터 올 2월까지 도내에 12건이 발생해 피해 폭7에 약 120억 원의 예산이 들어가야 했습니다. 지금까지의 경제 손실만 약 300억 원이 넘는 엄청난 피해입니다.

② 議会に関わる住民を増やす：官民協働 民間認証+ID+PKIの利活用

민간 인증서

카카오톡 하나인증서 통신사PASS 토스
삼성패스 네이버 신한인증서 국민인증서
NH인증서 페이코 뱅크샐러드

간편인증

본인인증 정보 입력

이름	홍길동
생년월일	19900101
휴대폰 번호	010 12341234

서비스 이용에 대한 동의

전체동의

개인정보 이용 동의

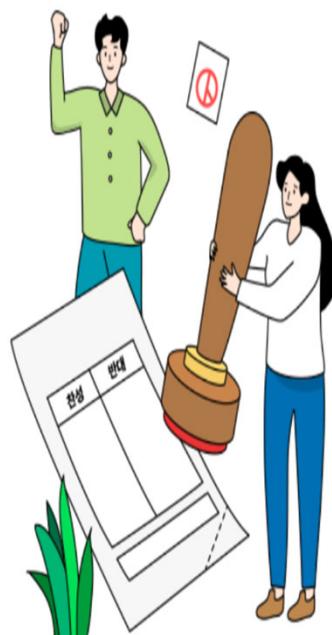
제3자정보제공동의

고유식별정보처리동의

사용방법 매뉴얼 안내

닫기 **이제 요청**

住民条例の署名 : Online Sign + 民間の認証もOK : NAVER(Line) /Kakao/SKT • KT Pass/Samsung pass/KB Mobile/Payco • • •)



네이버 신한인증서 카카오톡 통신사패스
(SKT, KT, LGU+) 삼성패스

KB모바일인증서 페이코

KB국민은행 PAYCO

이름 : 홍길동

주민등록번호 : 900101-1234567

휴대폰번호 : 010-12341234

서비스 이용에 대한 동의

전체동의

개인정보 이용 동의(필수) 자세히보기 제3자정보제공동의(필수) 자세히보기

고유식별정보처리동의(필수) 자세히보기

사용방법 매뉴얼 안내

닫기 인증 요청

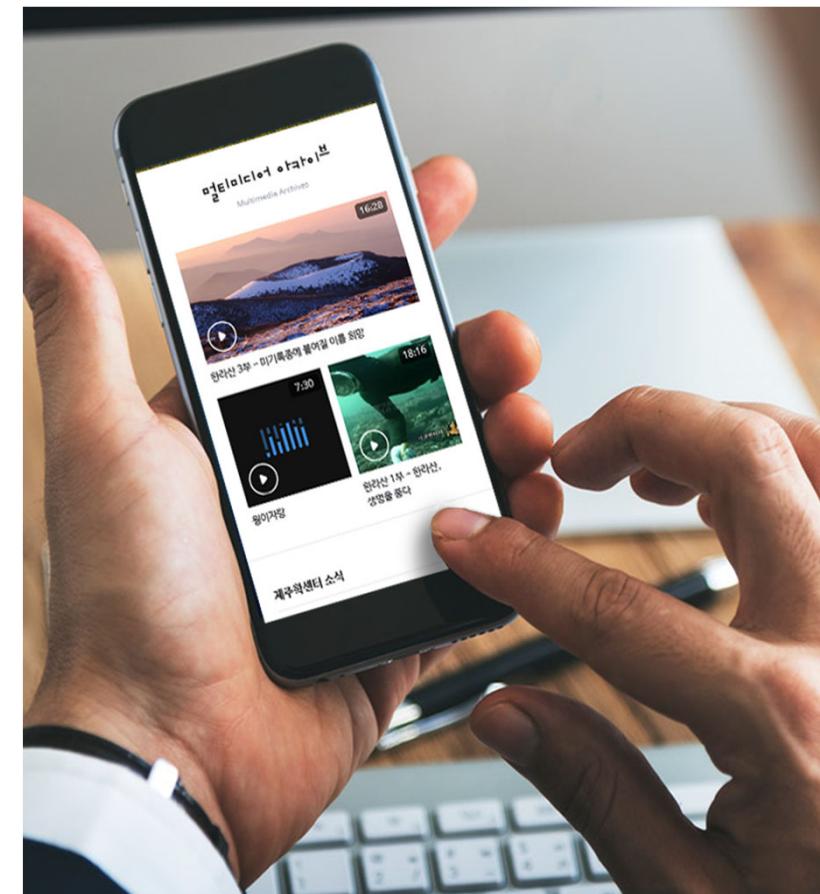
DXは議会・議員だけではなく、住民・支持者も発信・共有する環境づくり



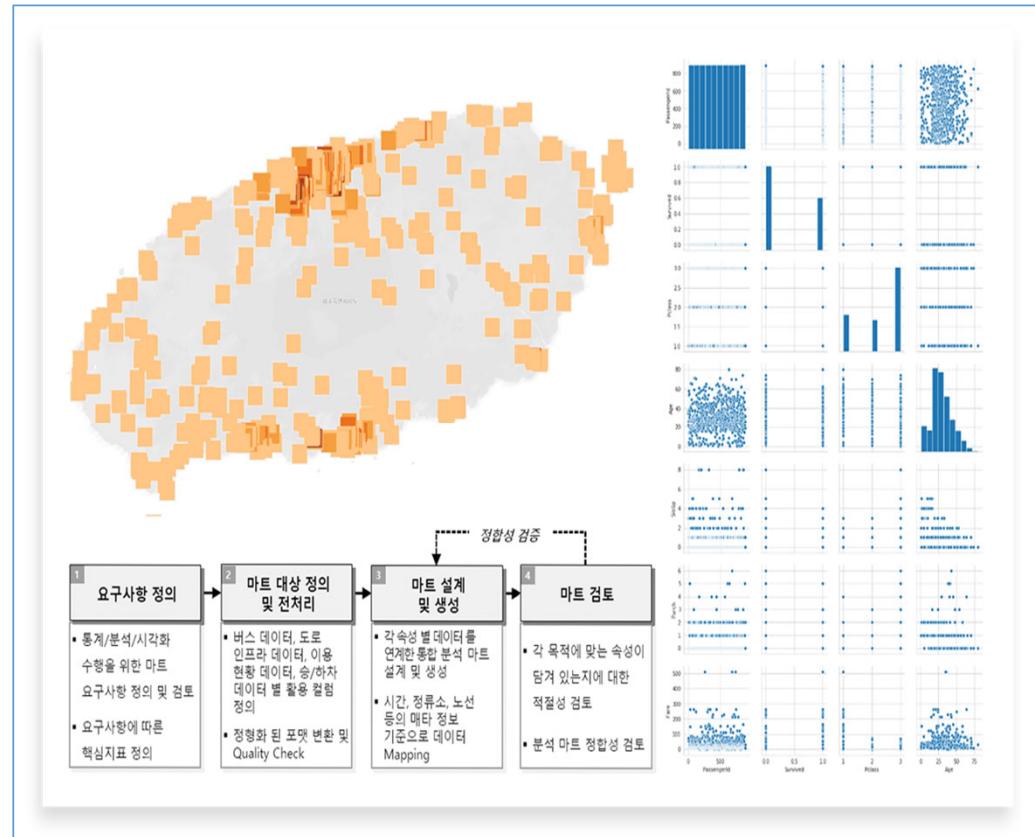
1. 議員が質問・活用情報をLINEで発信
2. 住民・支持者がその情報を周りの人々に共有
3. 議員の活用をリアルタイムでみる
4. 応援・書き込み・ご意見・話題の提供
→→議員に対する評価が高まる

→→住民が議会情報を発信・共有→住民の関心高→信頼も高まる

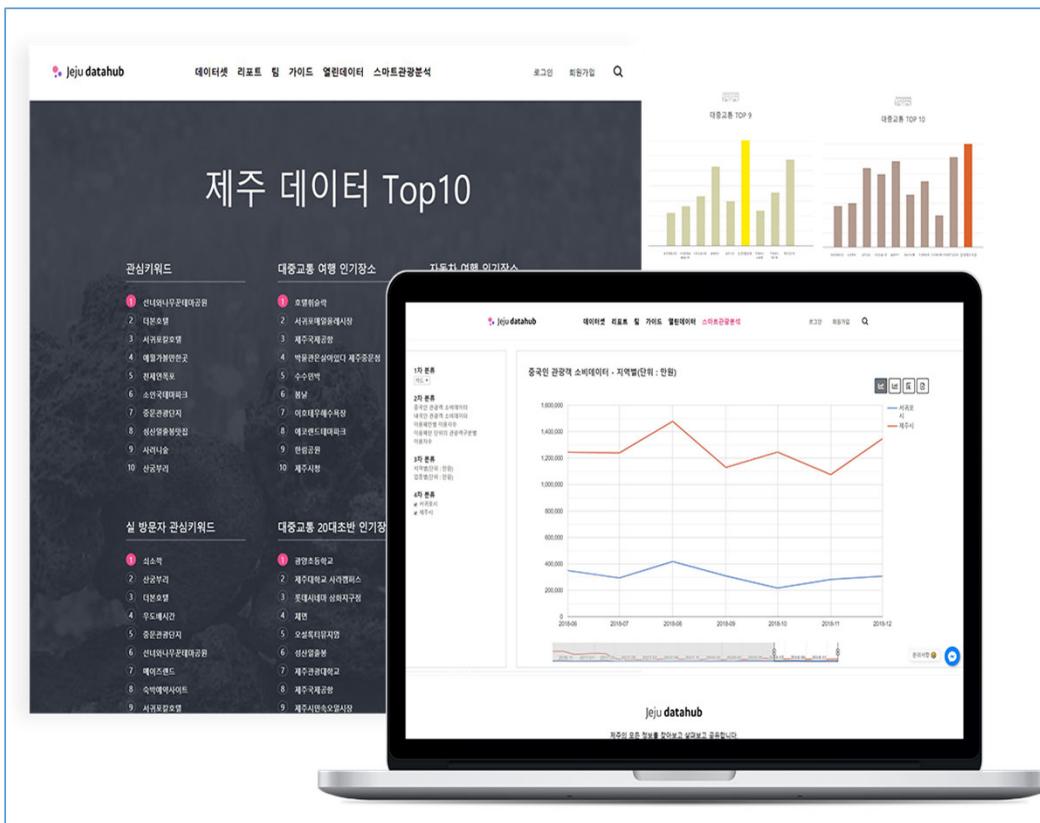
③ DATA基盤の政策決定(DBPM): 政策決定過程の見える化



公共交通データの活用：バス路線変更の納得



地域資源の減少時代における政策の正当性を高める手段：住民が納得する議会へ



④DXがもたらす議会-住民関係の再構築

1. 議会プロセスの見える化→→議会の透明性増加
2. Meta/Youtube/Instagram/Kakao/Twitter/LINEからでも議会へアクセス→→いつでも繋がる議会
3. 住民意見集約の多チャネル化：いつでも意見を聞く議会
4. 官民協働：住民が慣れた方法で議会へ参加
5. TV中継の効果・DBPM政策決定：任せる議会（代表機能）

→→超高度情報化・デジタル時代の地方議会の役割：デジタル
デモクラシーのプラットフォーム